

授業科目	地域マネジメント論特別演習 Community Management			担当教員	落合知子・大島啓・城前奈美		
展開方法	演習	単位数	2単位	開講年次・時期	1年／前期	必修・選択	必修
授業のねらい							
この講義では、自立した地域コミュニティの形成とそれを主体とする持続可能な社会発展のために求められている地域マネジメントの新たなあり方について、社会福祉学および地域政策論の視点から考察しようとするものである。「まちづくり」の基幹となるべき社会福祉の具体的な問題と地域政策の課題を通して、ホスピタリティと人間尊重の理念を活かした地域マネジメントを実現する能力を修得することを目標とする。							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	社会福祉および地域政策の問題を地域マネジメントに応用することについて討議することができる。			・授業態度・参加	20%		
思考・判断	地域マネジメントにおける社会福祉および地域政策の意義について考え、的確に指摘することができる。			・定期試験	10%		
技能・表現	社会福祉および地域政策の視点を、地域マネジメントに関する自らの研究テーマに応用することができる。			・課題レポート	10%		
知識・理解	地域マネジメントと社会福祉および地域政策に関する主要な研究業績についての的確に説明することができる。			・定期試験	30%		
				・課題レポート	30%		
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>評価は定期試験 40%、課題レポート 40%、授業態度・参加 20%の配分で行う。定期試験は各授業担当者が課すテーマと自らの研究テーマを関連づけたレポートの提出により行うものとし、主要な先行研究の問題提起を的確に理解し、地域マネジメントと社会福祉あるいは地域政策のさまざまな概念と視点を十分に用いることができているかを評価基準とする。課題レポートでは各授業担当者が授業のなかで指示する発表報告に関して、幅広い文献・資料にも意欲的に当たり、内容豊富で問題提起的なレポートを作成することができるかにより評価する。授業態度・参加については、発表をめぐる受講生同士の討論や教師からの発問に対する応答の内容を評価基準とする。</p> <p>これらの指導の過程において、研究を進める上で必要な研究倫理教育に関しても行うものとする。</p>							
授業の概要							
この講義では、3人の担当者がオムニバス形式で、それぞれの視点から地域マネジメントについて論じる。まず、地域マネジメントの視点と方法について概説し、経済・文化・観光の問題を通して地域の具体的な課題について検討する。次に、地域における博物館のあり方について検討する。最後に、社会福祉の精神にもとづいた地域コミュニティの形成がどのようになされていくべきかを、ボランティア活動等の問題を通して考察する。さらに、地域政策論の視点からの地域リーダーの育成などの問題を通して、地域マネジメントのあり方についての具体的理解を深める。							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。テキスト・資料等はコピーして配布する。</p> <p>参考書：授業の中で指示する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
地域マネジメントとは学問的にいまだ新しく、確立されていない部分も多い領域であるが、それだけにまた生産的な議論が可能である。社会福祉学および地域政策論の視点から地域マネジメントを多角的に考察するこの講義に、受講する院生諸君が主体的かつ積極的に参加することを期待する。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	導入 (城前)	地域マネジメントの視点と方法について概説を行い、本講義全体の見通しを述べる。	地域マネジメントの視点と方法に関する復習
2	地域とまちづくり (城前)	地域の課題やまちづくりをする主体について、地域経済・地域観光・地域福祉の観点から考察する。	地域課題に関する予習・復習
3	地域マネジメントと文化 (城前)	地域マネジメントにおいて文化の伝承・保存がどのようになされるべきかを考察する。	地域文化の伝承・保存に関する予習・復習
4	地域マネジメントと観光 (城前)	観光による地域活性化とその倫理的課題を地域マネジメントの視点から考察する。	観光による地域活性化に関する予習・復習
5	地域経済と地域観光 (城前)	観光事業が持続可能な地域マネジメントにつながる方策を考察する。	観光による地域経済効果に関する予習・復習
6	博物館の4大機能 (落合)	博物館法における博物館の4大機能を分析し、博物館が地域に果たす役割を考察する。	博物館法の予習・復習
7	地域における博物館の役割 (落合)	地域の核として利用されている北欧の博物館を事例に地域マネジメントを考察する。	野外博物館に関する予習・復習
8	地域における博物館の諸活動① (落合)	地域博物館における諸活動を考察し、地域マネジメントの課題を見出す。	博物館の諸活動に関する予習・復習
9	地域における博物館の諸活動② (落合)	地域博物館における諸活動を考察し、地域マネジメントの課題を見出す。	博物館の諸活動に関する予習・復習
10	博物館の回想法 (落合)	博物館における回想法を考察する。	高齢者対策を推進する博物館に関しての予習・復習
11	コミュニティーワークの基礎理論 (大島)	コミュニティーワークの定義と歴史、古典的な理論、現代的な理論を理解する。	コミュニティ・オーガニゼーションに関する予習・復習
12	コミュニティーワークの展開過程 (大島)	地域コミュニティーワークを、問題の把握、計画の策定、実施、記録と評価の観点から検討する。	ソーシャルワーク・アドボカシーに関する予習・復習
13	地域福祉計画の策定 (大島)	地域共生社会・重層的支援体制の構築を基軸とした地域コミュニティ形成の方向性やその課題について、佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画を通じて検討する。	佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画を熟読しておく。
14	地域マネジメントのイノベーション (大島)	これから地域をマネジメントしていくにはローカル・ガバナンスの考えが必要であり、そのあり方について、佐世保市協働推進指針を題材に検討する。	佐世保市協働推進指針を検討する。
15	ふり返りとまとめ (大島)	オムニバス形式の講義を通じて得られた地域マネジメントの視点をふり返り、自身の研究テーマと地域マネジメントの関連性について検討する。	これまでの授業内容をふり返しておく。